

The Architectural Association of Japan

会 告	大阪で施工中の超高層ビル見学会シリーズ（第4回）大阪大林ビル新築工事の見学会。開通した山陽新幹線を利用して新岡山駅並びに倉敷市民会館の見学会。昭和47年度第1回若い会員の集い「伝統工芸をみる会」。細則の一部改定について。……………	5
法令コーナー	55. 特定建設業について（河島 潔）……………	7
読者の頁	人工島の沈下地盤における若干の試み（西村正邦）。大然閣火災に思う（田中隆夫）。 読書感想文3題 「行動建築論」（著者：黒川紀章）と「建築と都市」（著者：丹下健三）を読み比べて（建築科3年生 柳本均）「建築馬鹿1」（著者：矢田洋）を読んで（建築科3年生 栗川淳）「現代の建築」（著者：西山知三）を読んで（建築科1年 小段美保子）……………	9
建築と社会ニュース	泉北パイロットハウス・瀬戸内海の汚染にメス・街の小さな博物館運動……………	13
A R T	アンケート掲載と美術ガイド……………	14
レポート	Operation BREAKTHROUGH を見る……………山本 康雄……………	17
データ通信と建築	5. DYNA（骨組振動解析）……………佐藤 雄二……………	21
スケッチブック	最近竣工した新建築9点（No.739~747）……………	25
クラスメート	82. 大阪市立都島工業学校 昭和17年卒…………… （横山忠・多田英之・岡田栄作・小林周一郎・妹尾幸夫・橋本秀雄・清水六郎）……………	27
建築の眼	〈市民と建築家〉（山本純孝） 求められる評論（紙野桂人）…………… 腹6分目都市（森谷晋作） 高校の専攻科（乾 亮三）……………	29
海外写真	マオリイの家と彫刻3……………写真と文・岩宮 武二……………	33
作品作風	ミナミ地下センター虹のまち……………設計：KK大建設計…………… 施工：KK大林組・KK奥村組・大成建設KK…………… 阪急三番街ファンタジーの広場……………設計・施工：KK竹中工務店……………	34 40

特集 = インテリアデザイン

・職域論	インテリアデザイン分野の職域の広がり……………藤川 宏允……………	46
	インテリア分野における協力体制—ホテルパシフィック東京……………西沢 文隆……………	48
	インテリアデザインにおける協力体制—阪急三番街の滝の街……………村尾 栄・吉引顕久……………	50
・インテリアとエクステリア	内側からの空間論……………三輪 正弘……………	52
	パブリック空間とプライベート空間……………樋口 治……………	54
・人間生活とインテリア	歪んだ空間で彼は考える……………伊吹 弘……………	56
	人間行動とインテリア—自分の立場から考える……………平井 進……………	58
	くらしとインテリア……………坪居 恭平……………	60
・エレメント論	インテリアエレメントと間……………中村 圭介……………	63
	機器化エレメントのスタディー—住空間の質と工業化への指標……………原田明道・柴田 潤……………	65
	建築とアートワーク……………多田 美波……………	70
・未来の生活とインテリア—イメージ案	……………	73

都市の開発的保存	5. ROTHENBURG—観光開発と保存……………永井 征二……………	87
技術の頁	115. 材料部門 超早強セメントコンクリート……………鈴木 計夫……………	93
月報	日本建築協会月間の動き（昭和47年1月分）……………	98

編集人 松井 昭 光
印刷 昭和47年3月20日
発行 昭和47年3月25日
発行人 福中 定三郎
発行所 (社)日本建築協会
大阪市東区北浜3-37
電 大阪 231-9648
振替口座 大阪 39975
印刷者 網野 栄
印刷所 (株)研文社
大阪市北区堂山町66
電 大阪 361-2091
売 価 1部 300円・送料共

昭和46年度編集委員会

編集委員長 知見 義夫 岩口 勝 小林 満
鳥田 家弘 安田 誠一 中山 富久 片口 幸彦
山田 勝成 永谷 二郎 塚本 正司
編集理事 岡橋作太郎 編集委員 小沢 信嘉 藤沢 隆
北垣 智造 安田 丑作 池田 恵次 垂水 英司
西嶋徳太郎 安田 孝 森 和枝 松原 純
小林 清 竹嶋 祥夫 安永 耕二 松原 徹雄
奥島 正一 片方 信也 永井 一彦 鈴木 俊世
浅沼猪之吉 森本 信明 森本千之祐 三谷真喜子
白井 周二 三輪 嘉男 平内 祥央 中谷麻差男
今元 康彦 加藤 満 中馬 宗武

次号特集予告：都市交通問題

1. 都市交通システムのあり方
2. 交通機関の最適選択論
3. 自動車交通の現状と論議
4. 居住環境と道路建設
5. 宅地開発における通勤問題
6. 都市交通における物流問題
7. トピックス
道路公害反対府民集会・陸橋と歩道・ノーカー運動と歩行者天国・新交通システムの紹介
6月号特集予告：水利用
総論
1. 近畿圏の水利用 2. 水利用の社会的価値の変遷
各論
1. 大規模宅地開発（プロジェクト型）と水質—平城ニュータウンの場合
2. 小規模宅地開発（個別保全型）と水質 3. 水利用の問題点
4. 都市と水
用語解説